

特 集

活動20年、つながりが生み出したもの

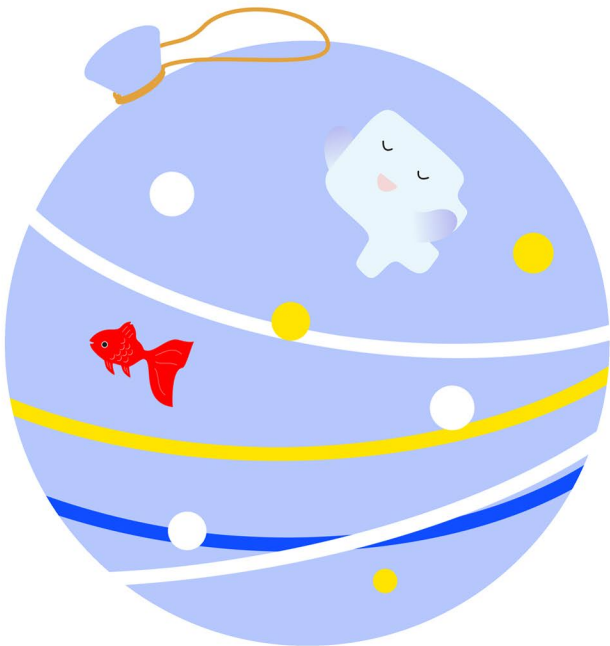
まちの「えんがわ」になりたい
調布市市民活動支援センター

NO.169

えんがわだより

2020.8

えんがわだよりオンライン



8月ボランティア募集中!

	ボランティアの内容	活動分類	活動時間	住所・活動場所 連絡先・担当者 等	詳細・備考
--	-----------	------	------	----------------------	-------

★地域のためのボランティア

1	公共交通機関の利用が困難な方のために福祉車両を運転し外出を支援	●車の運転 ※要自動車運転免許	ご都合の良い日時で 即相談	活動先 NPO調布ハンディキャップ事務局 住所 富士見町3-15-14さわハイツ101 問合せ NPO調布ハンディキャップ事務局 042-440-3860	・過去2年間に免許停止き で付けない30〜75歳まで の方 ・福祉有償運送に必要な 資格費用(2日間)は当法人 で全額負担します ・わずかですが謝礼金を差 上げます
2	使用済み切手の分類 (切手グループ「すまил」 は、使用済み切手をはがし 分類する活動を始めまし た。一緒に活動してくれる 仲間を募集します)	●切手の整理	月2回 土曜日 13:30~15:30	活動先 緑ヶ丘地域福祉センター 緑ヶ丘コーパー 03-3326-4088 緑ヶ丘コーパー 折原	・入口でチェックシートの 記入と「マスク着用」「手 洗い」などをお願いしま す。

★福祉施設でのボランティア

3	書道を教えてくれる方 お茶出し 華むしりボランティア	①ティサービス利用 者への書道を教えて くれる方 ②ティサービス利用 者へのお茶出し 見守りしてくれる方 ③中庭の華むしり	①毎週土曜日 13:15~14:15 ②月曜日 10:00~12:00 土曜日 10:00~12:00 13:00~15:00 10:00~15:00 ③要相談	活動先 調布八雲苑 住所 八雲台1-5-5 問合せ 042-484-8551 調布八雲苑 (担当: 大久保)	
4	シーツ交換のお手伝い ボランティア	●シーツ交換の お手伝い	要相談	活動先 地域密着型特別養護老人ホーム 神代荘 調布市大寺北町3-31-1 042-490-1200 地域密着型特別養護老人ホーム 神代の社 (担当: 礼野)	福祉の仕事に興味ある方、 お友達と一緒に活動して みませんか?
5	調布学園、第二調布学 園のお子さんのフレンド ホームになつていただ けるご家庭を募集し ております。	●児童支援 ●保育	夏休・冬休・土曜日・日曜 日・祝日など休校期間の中 で都合の良い日	活動先 調布学園、第二調布学園 フレンドホーム 担当 富士見町3-18-1 電話: 042-483-7611 mail: jdcxorg@thofuetsuakuen.com	対象は、都内の乳児院や児童 福祉施設で生活してい る、お友だちから12歳 ぐらいまでの子供です。 (対象は18歳までです。) 詳細は東京都 福祉センター よりご連絡 ください。

★新着ボランティア情報

6	手縫い雑巾を一緒に作 りませんか? (初心者の方歓迎)	●雑巾作り	月2回 第1・第3土曜日 10:00~12:00	活動先 緑ヶ丘地域福祉センター 緑ヶ丘コーパー 問合せ 03-3326-4088 緑ヶ丘コーパー 折原	・地域の保育園や児童館へ 定期的に届けられています。 ・手仕事の機会が針の持ち 方から丁寧に教えます。
7	写真・アルバム洗浄 ボランティア	●台風19号で 浸水被害に 遭った写真 アルバムの洗浄	毎週木曜日・土曜日 10:00~15:30	活動先 染地地域福祉センター 染地3-3-1 問合せ 042-481-3790 染地コーパー 渡邊	

★ご寄付お待ちしています

☆使用済み切手を回収しています。

【内 容】届いたお手紙に貼ってある、消印が捺印された切手を募っています。
使用済み切手のほか、書き損じハガキ、換金しなかった外国コイン、不要になった入れぬも募っています。
使用済み切手は、切手整理ボランティアの手により商品に生まれ変わります。
ご寄付いただいた品は換金し、調布のまちのために活動するボランティア・市民活動団体を応援する助成金「えんがわファンド」の原資となります。

【回収場所】総合福祉センター 2階
【問い合わせ】小島町コーパー (担当: 佐藤)



☆未使用のタオルの寄付をお待ちしています!



小島町コーパー・染地コーパー
緑ヶ丘コーパー・菊野台コーパー
富士見コーパー・西部コーパー までお願いします。



おうちにいながらボランティア! 調布STAYHOMEボランティア

医療・福祉・海外支援などの団体施設へ寄付や、自宅でもできる
ボランティアをしてみませんか? 今だからこそできる新しい形のボランティアです。

調布STAYHOMEボランティアで「これは!」という活動を見つけ
てもらえたら嬉しいです。
皆さんの活動の先には、どんな実りがあるでしょうか?

【申込み・受付期間】7月1日(水)~9月30日(水)
調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター
☎042-443-1220 ☎npo-center@cscw.or.jp



調布STAYHOME ボランティア体験者募集

医療・福祉・海外支援などの団体施設へ寄付や
自宅でもできるボランティアをしてみませんか?
今だからこそできる新しい形のボランティアです

【申し込み・受付期間】7月1日(水)~9月30日(水)
調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター
☎042-443-1220 ☎npo-center@cscw.or.jp

活動20年、つながりが生み出したもの

「高齢者にこそパソコンが必要な時代が来る」と確信し、情報社会において中高年層者が社会から取り残されないよう、デジタルデバイドの解消を目的として創立された市民活動団体、調布パソコンサークル(CPC)。現在はさまざまな年齢層の市民にパソコンを教えています。20年を超える活動の中で、見てきたことは？コロナ禍において、インターネットを利用したサービスが見えられた中、IT団体の強みを生かしながら今後の活動を率先して模索していく様子を、調布パソコンサークル代表の野澤茂さんにお話しいただきました。

※パソコンやインターネット等の情報技術を利用する能力、およびアクセスする機会を持つ者と持たない者との間、情報格差が生じるとされる問題

その活動は、市民と行政の協働戦略から始まった！

1998年の秋、後にCPCの初代代表となる矢嶋志武氏が「高齢者や障害者こそパソコンが必要」として「市民と行政が一体となり協働することにより地域が活性化する」との考えで調布市に働きかけ、その努力が実って2000年1月にCPCを創立しました。同年2月には「第一回中高年のための初心者パソコン教室」が第六中学校のパソコン室をお借りして開催されることになりました。以降、この教室は定期的に開催されることとなりますが、募集人数に対し、およそ10倍の応募があり、毎回抽選遅れの方々が出してしまうことが問題になりました。一方、受講者の皆さんからは「もう少し教室を縮小させてください」、「見放さないでください」との声が上がった。その対策として、2001年に、教室を受講した方に限り利用できる「バブあるクラブ」を開設させ、郵便局の一室をお借りし、パソコン相談室を開始しました。

また国レベルでは、平成13(2001)年度末までに約550万人のパソコン初心者の方々に受講してもらい、IT技能を身につけてもらうという目的で「IT講習会」が計画され、各自治体を介して実施されることになりました。調布市においても、プロの先生を招き、市内の中小学校のパソコン教室を借りて講習が始められ、同時にそれをサポートするボランティアとして一般の市民と共にCPCも手を挙げ、サポート人員の配置計画、教室の準備、先生のアシスタントなどで活躍しました。全国展開されたその「IT講習会」は、約2年の活動予算であったため終了しましたが、活動を終えた一般市民の中からCPCの活動に興味し、CPCに加入したメンバーもいました。こうした間接的効果を持った人たちにより、一段と強力になったCPCの活動が始まったのです。



パソコン講習会

パソコンを教える上での環境と戦い

サークル活動を行うにあたり、ボランティア組織ではパソコンなどの機材の確保が難しく、調習する場所もありませんでした。CPC創設に先立ち、矢嶋氏は市内の小中学校を借りて講習をできないかと奔走したわけですが、これには市の生涯学習推進室(当時)のご理解とご協力があったから実現できたのです。こうして春と秋にそれぞれ12時間を講習する「中高年のための初心者パソコン教室」が中学校のパソコン教室で開催されるようになりました。講習内容は、パソコンの取り扱い、インターネットの使い方、メールの打ち方などのパソコンの基本操作や文字入力、ワードを使っはがきなどの作成といったものが中心でしたが、そのうち、受講生の中にはもう少し上級のものを教えてくれかという要望を持つ方も出てきたので、2009年からは「初級でのエクセル」講座も開設するようになり、そして後年にはタブレットやスマホの普及に伴い、iPadなどのタブレット教室も開催するようになりました。



タブレット講習会

しかし、講習を重ねていく中、一方でこんな悩みも抱えていました。会場となる学校のパソコンには、なかなか予算がつきにくいこともあり、パソコン自体の更新が世の中のパソコン環境に追いつかないのです。例えば講習を受けた人が、家で勉強したいと思って新しいパソコンを購入すると、そのパソコンは概ね最新版なのです。そのため中に入っているMicrosoft OfficeのバージョンやOSそのもののバージョンが違っていたり、教室で教わった内容と噛み合わない場合が出てきてしまうのです。教える立場からいえば、やはり「基本的には最新の情報を教えた」とは思っていたが、それが叶わないというのはなかなかつらい状況です。この状況を乗り越えるために、パソコン機材はCPCが既に保有していたものに追加、不足する分はメンバーが資金を出し合って揃えました。この結果、常に最新のバージョンが備わった環境で講習ができるようになりました。

20年の活動を経て、 近年さまざまな活用をさせていただくようになりました

サークルの活動方針としては、これからのIT社会についていかないうち中高年層者とそのまにせずお手伝いしたい。デジタルデバイドの解消をしていきたいというのが基本的なものです。年齢制限を設けてはいきたくはありません。最近では、スマホの時代背景というのもあって、若い年齢層でもパソコンを会社で十分に使いこなせていない人も多く、就職前に講習を受けておきたいという人も増えています。また、ある程度の子育てが終わる再就職を考えているお母さん方も注目されるようになってきました。そして教える側にとっても、教える自分も学ぶことができるし、人と触れ合うことによって自分の存在を再確認でき、生きる上での活力になっているように思います。また、CPCには若い人もいますが、若い世代の感覚に基づいた提案には触れられることも多く、中高年のメンバーには良い意味で刺激を与えています。

インターネットを利用した新しい取り組みを率先して 模索しています

新型コロナウイルスの発生により世界的に大きな社会問題となっており、この問題に対してどのように乗り越えていくのか、この先どんな運営をしていこうと良いのか、その課題に悩み考えるのも、活動のひとつだと思っています。運営に対する話し合いの中で、オンライン会議をやるうと声が上がった。現在はZoom(ズーム)やSkype(スカイプ)を使い、テレワークをしています。テレワークでは、会議だけでなく勉強会などとして、最近では、義務教育過程の学校授業でも取り入れられるというプログラミングの一つである「スクラッチプログラミング」にも挑戦したり、ホームページの作成や動画を作ってYouTubeにアップロードするなど、お館ちゃんお婆ちゃんもやってみようという感じで新たな取り組みが始まっています。あくまで15周年のイベント向けに披露しようとしていたタブレット端末を使ったオクステラミュージックも2月から練習していましたが、コロナの影響でイベントが中止になってしまったため、それぞれの自宅で演奏したものを編集者に送り、集約してYouTubeで配信しました。

すぐにコロナの状況が良い方向に傾くイメージのない中で、会員の方々は、自分から何かをやりたいという想いを大切にしたいと、声があがれば、それを積極的に取り入れていきたいと思っています。地域の活動団体としても、この先交流イベントがあれば参加させていただくなど、できるところを探りながら活動を進めていければ良いかなと考えています。また、新会員も常に募集していますので、一緒に活動してみても良いかなと思われたら声をかけてください。

調布パソコンサークル iPad チームで制作した動画です。私たちがお手伝いしているパソコン相談室(バブあるクラブ)の生徒さん向けに、コロナ自粛中でも元気でいて欲しいとの想いで作りました。メンバー各自の自宅から、iPadのGarageBandアプリを使って演奏し、Zoomを介して撮影しました。



動画リンク先
<https://youtu.be/uXNf02scnY>



市民の要望から始まった活動の様子や、困難を乗り越え現在に至るまでのお話をたくさん聴くことができた。改めて人のつながりが活動を支えていると感じました。また、改めて、私の初取材のきっかけを作ってくれた前代表の荒井さん、取材に丁寧に向き合ってくれた現代代表の野澤さん、そしてYouTubeの掲載を承けてくださった会員の皆様、大変感謝しております。CPCさんは現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しておりますが、9月より講習の再開をいたします。感染防止に努めながら、利用施設の基本ルールを守り、団体独自のルールを作成し対策を考えて臨まれる予定だそうです。パソコン操作でお困りの方、是非チャレンジしてみてください。

市民活動支援センター 鈴木



こんべいとう 子育てひろば やってます！ 子育て中のママ、パパ親子で遊びにきてください

- 【内 容】3密に気を付けながら、おしゃべりして交流しましょう。(大人はマスク着用でお願いします)
- 【日 時】毎週火曜日 13:30~16:30
- 【場 所】富士見町ふれあいの家(富士見町3-3-17)
- 【対 象】主に 0歳児~2歳児 親子
- 【費 用】無料
- 【備 考】申し込み不要ですが、先着順でご利用頂き密な状況になる場合は入室をお断りする場合があります。
- 【問合せ】NPO法人 調布子育てを結びこんべいとうの会
- Eメール: hiroba@conpeitou.org



「筋トレグループの会」(自主サークルになりました！)

- 【内 容】10の筋肉トレーニング
- 【日 時】9月3日(木)17日(木)、9月8日(火)22日(火)
10:30~12:00 ※毎月第1・3木曜日 第2・4火曜日
- 【場 所】緑ヶ丘地域福祉センター 第2集会室
- 【対 象】ゆるやかな体操です。
初めての方でも安心してご参加いただけます。
- 【参加費】無料
- 【問合せ】03-3326-4088 緑ヶ丘コーナー
- 【持ち物】水分補給用飲み物、タオル マスク着用



※サンダル以外の動きやすい靴がお勧めです。
※3密を避けるため、事前にお問合せください。

スポーツウエルネス吹矢 一緒に、楽しみませんか？

- 【内 容】スポーツウエルネス吹矢体験会
- 【日 時】8月24日(月)・31日(月) 13:00~16:00
- 【場 所】調布市市民プラザあくろすホール (3F)
- 【対 象】高齢者
- 【費 用】無料
- 【問合せ】当日、直接会場へお越しください



あなたの想いを地域の力に！ ボランティアガイダンスを開催します

事前のお申込みをお願いします

- 【日 時】8月25日(火) 15:00~16:00
- 【場 所】菊野台地域福祉センター
- 【問合せ】042-481-6500 担当: 青木

- 【日 時】9月16日(水) 10:00~11:00
- 【場 所】総合福祉センター 小島町コーナー
- 【問合せ】042-481-7695 担当: 佐藤

- 【日 時】9月26日(土) 10:30~11:30
- 【場 所】染地地域福祉センター
- 【問合せ】042-481-3790 担当: 渡邊



シニアが絵本を楽しむ会メンバー募集

高齢者にとって滑舌の良い発声で朗読するのは、脳トレにつながることをご存知ですか？

- 【内 容】絵本好きの高齢者が集まり、好きな作品を紹介しあったり朗読しています。月に1回、講師の指導を受けています。初心者でも楽しくご参加いただけるサークルです。

- 【日 時】月2回 第2・4水曜日13:30~16:00
- 【場 所】染地地域福祉センター 大集会室
- 【対 象】絵本の好きな方・どなたでも
- 【問合せ】042-481-3790 染地コーナー 渡邊



絵手紙「ものの会」メンバー募集 筆を動かす、口も動かす、楽しく絵手紙を学びましょう！

- 【内 容】月に1回、元気で顔を合わせ絵手紙を学ぶ
- 【日 時】月1回 第1土曜日 10:00~正午
- 【場 所】染地地域福祉センター 第1・2集会室
- 【対 象】絵手紙に興味のある方など誰でも
- 【備考・参加費】参加費として1ヵ月200円
- 【問合せ・申込】042-481-3790 染地コーナー 渡邊



「染地うたごえ広場」からのお知らせ

「染地うたごえ広場」はコロナウィルス拡大防止のため、しばらくお休みをいたします。
再開できる時、染地地域福祉センターに「再開のお知らせ」を掲示します。ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。
【問合せ】042-481-3790 染地コーナー 渡邊

「えんがわファンド」申請団体募集

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で
助成する市民活動支援センターのプログラムです

- 【対 象】(1)調布市内で活動するボランティアグループ・市民活動団体 (2)市内小中高等学校
【助成金額】一団体 上限10万円
【応募期間】6月22日(月)午前9時~8月31日(月)午後5時 必着

- 【助成対象期間】2020年6月1日(月)午前9時~
2021年5月31日(月)
【問合せ】042-443-1220 市民活動支援センター

※申込方法などの詳細は市民活動支援センターHPで確認いただくか、お問合せください。申請についてご相談がある場合はお早目にご連絡ください。



私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

8月

調布市市民プラザあくろす市民活動支援センターの活動スペース「はばたき」は、日々多くの市民が（市外の方も利用可）活動や情報収集の為に集って利用されている場所です。ここを使って下さる3000人～4000人（月間数）の方々には「はばたき」の使い勝手などの様に感じているのだろうか、有意義に活用してもらえているのだろうか、改善を望まれる点はどのようなものか、スタッフの接客に対してはどう感じているのだろうか…。

私達スタッフはここを利用される皆様の声を定期的にお聞きし、皆様が大切にしている部分を守りながら、改善できることは積極的に取り組み、センターの機能を更に高めていきたいと考えています。この秋、「はばたき」を利用される皆様に向けて満足度調査（アンケート）の実施を予定しています。皆さんの率直な声をたくさん聞かせて下さい！ご協力の程よろしくお願ひします。

(あさみ)



「やっぱり会って話すのって大事だね」最近、いろいろな場面でこんな言葉を耳にすることが増えました。感染拡大を防ぐためには3密を避けるなど、新しい生活様式に取り組むことが重要です。オンラインで繋がる気軽さを感じ一方で、「なんとなく物足りない」顔も見えているし話すこともできているのに、実際に会って話すのと画面越しで話すのとでは何かが違う。コミュニケーションは取れているはずなのに、どこか満足できない。意外と多くの方がそんな風に感じ始めているのかもしれない。きっと会って話すということの中には、会わなければ補えない安心感や温かさなど、目に見えないたくさんの不思議な力があるんだなと感じています。



市民活動支援センターでは、「市民がつながるまちのえんがわを目指して」様々な活動団体の皆さんやボランティアさんの活動をサポートしていますが、新しい「みんなのシェア BOOK えんがわ文庫～地域につながるおすそ分け図書～」をスタートします。この取り組みは、新しいつながりや誰でも気軽に話せる楽しい場所作りを目的として、皆さんのおススメ図書をご寄付（おすそ分け）いただき、本をきっかけにしたコミュニケーションを拡げていく活動です。あなたのオススメの一冊をきっかけに、調布のまちをより良くなる活動の種が芽生えるかもしれません！

今はまだ会って話すことにためらいを感じる方が多いと思いますが、センターでは誰でもいつでも気軽に交流できる場所を準備していきますので、今後のご案内にご期待ください。

現在はオススメ図書のおすそ分けのみ（ご寄付）センター窓口にて受付中です。あなたの感動や意見を次の人に繋いでみませんか？

〈いけだ〉



センターと各ブランチへのアクセス

●市民活動支援センター



調布市国領第2-5-15 コクティ2F
Tel : 042-443-1220
Fax : 042-443-1221
Mail : npo-center@ccsw.or.jp
開館時間 : 8:30 ~ 22:00
休館日 : 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/29 ~ 1/3)
その他臨時休館日あり

●小島町コーナー



調布市小島町2-47-1
総合福祉センター2F
Tel : 042-481-7695
Fax : 042-481-6611
Mail : kojimacho@ccsw.or.jp
開館日時 : 月・金曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 佐藤・倉田

●染地コーナー



調布市染地3-3-1
染地地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-3790
Mail : somechi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 渡邊

●西部コーナー



調布市上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-426-4335
Mail : seibu@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 浦井

●菊野台コーナー



調布市菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-6500
Mail : kikumodai@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 青木

●富士見コーナー



調布市富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
Tel/Fax : 042-481-8719
Mail : fujimi@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 岡澤

●緑ヶ丘コーナー



調布市緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
Tel/Fax : 03-3326-4088
Mail : midori@ccsw.or.jp
開館日時 : 火・木・土曜日
9:00 ~ 17:00
コーディネーター : 折原

●野ヶ谷の郷



調布市深大寺町6-27-3
Tel/Fax 042-481-1838
開館日時 : 火・木・土曜日
10:00 ~ 16:00



市民活動支援センターは
NPOやボランティアなどの
幅広い市民活動を総合的に
支援するための拠点です

- ・NPOや市民活動についてのご相談
- ・市民活動についての様々な情報の収集
- ・パソコンを使った情報検索や資料作成
- ・壁面を使った作品などの展示
- ・フリースペースのご利用



etc...

ボランティアさんで運営する地域の居場所
「であい・ふれあい・支えあい」

野ヶ谷の郷から、

生きてよかった あなたに逢いたくて
広島の街から あるいはきたの、..
この歌は「折鶴」という歌です。8月には
あちこちでこの歌がうたわれました。
8月6日の記念式典をテレビで見ていて、
ふっと口ずさんでいました。野ヶ谷の郷も
みんなに逢える大切な場所です。



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する
えんがわファンドサポーター募集中 **1口3,000円**

「えんがわだより」 発行・編集 : 調布市市民活動支援センター